

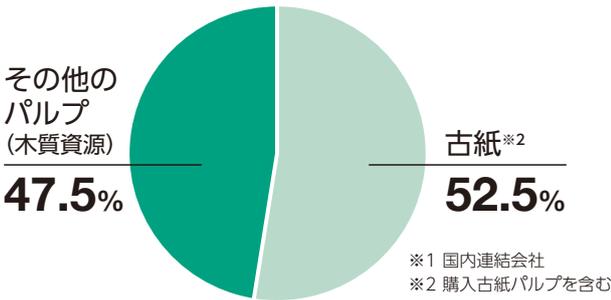
原材料調達の現状

古紙の利用を積極的に進めていくとともに
持続可能な経営が実践されている森林から木質資源を調達しています

紙の原材料調達の現状

日本製紙グループの主要製品は紙製品であり、その原材料の52.5%を古紙が占めています。残る47.5%が、主に木材チップなどの木質資源です。

紙製品の主要原材料の内訳※1 (2019年度)



古紙の安定調達の取り組み

古紙の回収は、ごみ減量に加え、資源の再利用策としても年を追うごとにその重要性は増しており、日本の製紙業にとっても、古紙は原材料の過半を占める不可欠な資源となっています。

日本製紙グループでは、長年にわたって古紙業界とともに築き上げてきた安定的な調達体制を維持しつつ、昨今のプラスチックごみによる環境汚染問題への対応として「紙化」を推進すると同時に、使用済み紙コップなどを活用する新たなリサイクルの輪の構築を進めております。また、回収された新聞古紙を長期的かつ安定的に新聞用紙の原料として資源循環させるため、新聞社が回収した古紙を日本製紙(株)が直接買い受ける「クローズドループシステム」という新たな調達の仕組みづくりなどを進めており、紙のリサイクルシステムの維持拡大により一層の貢献を図ってまいります。

木質資源の安定調達の取り組み

日本製紙(株)の木質原材料調達においては、大部分を木材チップ、一部をパルプとして調達しています。木材チップは海外から6割強を、国内で4割弱を調達しています。海外材チップは安定調達のため、アジアやオーストラリア、南米など世界各地から輸入しています。

日本製紙(株)が調達している木質原材料(チップ)の調達地別内訳 (2019年度) (トン=絶乾トン)



広葉樹の資源構成 (2,971千トン)



針葉樹の資源構成 (1,159千トン)



※ここで指す天然林とは、森林認証を取得済みもしくは二次林由来のもの、または製材廃材チップで持続可能と判断できるもの

日本製紙(株)が調達している海外材チップの生産国および樹種 (2019年度)

広葉樹

国	構成比	樹種
ベトナム	30%	アカシア
オーストラリア	22%	ユーカリ
南アフリカ	19%	アカシア
ブラジル	16%	ユーカリ、アカシア
チリ	11%	ユーカリ
タイ	1%	ユーカリ
マレーシア	1%	アカシア
合計	100%	

針葉樹

国	構成比	樹種
オーストラリア	65%	ラジアータパイン
アメリカ	26%	ダグラスファー
ロシア	9%	エゾマツ
合計	100%	